

平成20年7月9日

第12回 国際医療福祉大学・ニッセイ同和損害保険 奨学生認証式を開催

ニッセイ同和損害保険（社長：立山 一郎）では、5月22日、東京新阪急ホテル築地にて、第12回国際医療福祉大学・ニッセイ同和損害保険奨学生認証式を開催しました。これは、当社の前身である旧同和火災が、平成9年に創業100周年記念事業の一環として、高齢者介護・リハビリテーションなど医療福祉分野を支える人材を育成する国際医療福祉大学（栃木県大田原市）の学生を対象に創設した奨学金制度に基づき開催したものです。

認証式には、厳しい選考を経て認定された第12期奨学生10名のほか、大学から高木邦格理事長、谷修一学長、岩尾總一郎副学長をはじめ5名の方が列席されました。奨学生の自己紹介の後、当社を代表して岡崎名誉会長が祝辞を述べ、奨学生一人ひとりに認証状を手渡しました。

奨学金制度は、返還義務のない奨学金を原則として卒業時まで給付するもので、平成20年度は2000万円を奨学金として寄付しました。これまでに、大学院への進学を含め69名の奨学生が巣立っており、医療福祉分野を支えるエキスパートとして活躍されています。

当社は、高齢化社会に対応し、介護サービスやシルバー事業における取り組みを強化してきました。今後も同大学のノウハウや奨学生を含む卒業生のネットワークを活かし、介護・シルバー事業の更なる拡充を図ってまいります。



ニッセイ同和損害保険第12期奨学生を囲んでの記念撮影

(前列左から、松久保(専務) 岩尾副学長、高木理事長、岡崎(名誉会長) 立山(社長) 谷学長、山田(副社長))